

2017年 1 月29日 実施

平成28年度（第56回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. ファイルやフォルダへのアクセス権の一種であり、すべての操作が行える権限。
2. 記憶領域の効率化や伝送時間の短縮などを目的にサイズが縮小されたファイルを、元の状態に戻すこと。
3. 階層型ファイル管理構造において、最も上位にあるディレクトリ。
4. コンピュータ機器やソフトウェアの購入代金など、コンピュータシステムを導入したときに発生する費用。
5. 鉛筆などで塗りつぶされたマークを光学的に読み取る装置。

解答群

ア. ルートディレクトリ	イ. OMR	ウ. サブディレクトリ
エ. OCR	オ. 書き込み	カ. フルコントロール
キ. 暗号化	ク. イニシャルコスト	ケ. ランニングコスト
コ. 解凍		

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. グループウェア 2. LAN 3. 著作権法
 4. MP3 5. ダウンロード

<B群>

- ア. ケーブルテレビ放送の回線を利用して、コンピュータなどからデータ通信が行えるようにするための接続機器。
- イ. 音声圧縮技術の一つで、音楽CDとほぼ同等な音質を保ちながら、大幅に容量を圧縮できるファイル形式。
- ウ. インターネットなどで公開されている、無料で利用できるソフトウェア。
- エ. 企業など組織内のコンピュータネットワークを活用し、情報の共有やスケジュール管理などを行うソフトウェア。
- オ. 小説やプログラムなどを創作した人の権利、およびそれらに隣接する諸権利を定めた法律。
- カ. 動画を圧縮して保存する際のファイル形式。圧縮方式によりいくつかの規格が定められている。
- キ. クライアント側の端末に、ネットワーク上のサーバからデータを受信し保存すること。
- ク. 個人の権利や利益を保護するために、個人情報を取り扱う事業者等に対して、一定の義務を課す法律。
- ケ. 同じ建物など、限られた範囲にあるコンピュータやプリンタなどを接続し、データの送受信を行うネットワーク。
- コ. クライアント側の端末にあるデータを、ネットワーク上のサーバに送信すること。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 10進数の 13 と 2 進数の 1 0 1 の積を表す 2 進数。

ア. 1 0 0 1 0

イ. 1 0 0 0 0 0

ウ. 1 0 0 0 0 0 1

2. コンピュータで使用する日本語を表現するために、日本工業規格によって定められている文字コード。

ア. J I S コード

イ. A S C I I コード

ウ. U n i c o d e

3. 横500画素、縦350画素の画像をフルカラーで圧縮しないで保存する場合、画像 1 枚の記憶容量。
ただし、フルカラーは24ビットカラーとし、1 K B = 10³ B とする。

ア. 175 K B

イ. 525 K B

ウ. 4,200 K B

4. 自己の容姿を無断で撮影されたり、あるいは公開されたりしないように主張できる権利。

ア. 肖像権

イ. 不正アクセス禁止法

ウ. 産業財産権

5. 次の盆踊り参加地区表と、おみこし参加地区表を積集合した仮想表を作成する。作成された仮想表のレコード件数。

盆踊り参加地区表

地区コード	地区名
101	中
102	北
103	森
104	山戸
106	港
107	緑
108	泉
109	青葉
110	南
114	旭

おみこし参加地区表

地区コード	地区名
101	中
102	北
103	森
104	山戸
105	桜
106	港
111	湾岸
112	紅葉
113	林
114	旭

ア. 4

イ. 6

ウ. 14

【４】 ある気象観測機関では、各都市における８月の最高気温を観測した日のデータを次のようなリレーショナル型データベースで管理している。次の各問いに答えなさい。

都市表

都市コード	都市名	地域コード	区分コード
C001	A市	T01	J
C002	S市	T01	P
C003	Y市	T01	J
C004	T市	T02	P
C005	G市	T03	P
C006	B市	T04	J
C007	O市	T05	P
C008	M市	T05	J
C009	W市	T05	J

地域表

地域コード	地域
T01	東北
T02	関東
T03	東海
T04	北陸
T05	近畿

区分表

区分コード	区分
J	日本海側
P	太平洋側

観測表

年	都市コード	最高気温	観測日
1995	C001	37.0	15
1995	C002	34.2	8
1995	C003	35.4	20
1995	C004	39.0	4
1995	C005	38.7	5
1995	C006	36.1	27
1995	C007	36.3	4
1995	C008	37.2	20
1995	C009	37.2	4
2005	C001	34.1	5
2005	C002	34.2	5
2005	C003	36.4	6
2005	C004	36.9	5
2005	C005	37.0	5
2005	C006	36.8	2
2005	C007	37.0	5
2005	C008	37.1	4
2005	C009	35.1	9
2015	C001	36.5	5
2015	C002	37.6	5
2015	C003	36.7	2
2015	C004	38.6	7
2015	C005	39.9	1
2015	C006	35.7	5
2015	C007	38.0	8
2015	C008	37.4	2
2015	C009	37.1	1

問１．観測表の主キーとして適切なものを選び，記号で答えなさい。

- ア．年，観測日
- イ．都市コード，最高気温
- ウ．年，都市コード

問 2. 次の(1)～(3)のSQL文によって抽出されるデータを解答群から選び、記号で答えなさい。

- (1) SELECT 都市名
FROM 都市表
WHERE 区分コード = 'P'
- (2) SELECT 都市名, 最高気温
FROM 都市表, 観測表
WHERE 都市表.都市コード = 観測表.都市コード
AND 観測日 >= 20
- (3) SELECT 年, 地域, 都市名, 最高気温
FROM 都市表, 地域表, 観測表
WHERE 都市表.都市コード = 観測表.都市コード
AND 都市表.地域コード = 地域表.地域コード
AND (都市表.地域コード = 'T01' OR 都市表.地域コード = 'T02')
AND 最高気温 > 37.0

解答群

ア.	A市 S市 Y市	イ.	B市 36.1	ウ.	1995 関東 T市 39.0 2015 東北 S市 37.6 2015 関東 T市 38.6
エ.	S市 T市 G市 O市	オ.	Y市 35.4 M市 37.2	カ.	1995 東北 A市 37.0 1995 関東 T市 39.0 2015 東北 S市 37.6 2015 関東 T市 38.6
キ.	A市 Y市 B市 M市 W市	ク.	Y市 35.4 B市 36.1 M市 37.2	ケ.	1995 近畿 M市 37.2 1995 近畿 W市 37.2 2005 近畿 M市 37.1 2015 近畿 O市 38.0 2015 近畿 M市 37.4 2015 近畿 W市 37.1

問 3. 次のSQL文を実行したとき、表示される適切な数値を答えなさい。

SELECT MIN(最高気温) AS 実行結果
FROM 都市表, 地域表, 区分表, 観測表
WHERE 都市表.都市コード = 観測表.都市コード
AND 都市表.地域コード = 地域表.地域コード
AND 都市表.区分コード = 区分表.区分コード
AND 地域 = '近畿'
AND 区分 = '日本海側'

実行結果

※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【5】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、あるビジネスホテルのシングルルーム一泊の宿泊料金計算表である。「宿泊料金」は、「宿泊希望日」から「2017年宿泊料金料率表」を参照し、「基本料金」を掛けて求める。E 4 に設定する次の式の空欄(a)～(c)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E	～	M
1							
2	宿泊料金計算表						
3	宿泊希望日			基本料金		宿泊料金	
4	月	日	7,0005,600				
5	1	30					
6							
7	2017年宿泊料金料率表						
8	日\月	1	2	3	4	～	12
9	1	150%	80%	80%	120%	～	110%
10	2	150%	80%	80%	100%	～	120%
11	3	150%	80%	80%	100%	～	120%
12	4	150%	80%	80%	100%	～	120%
13	5	150%	80%	80%	100%	～	120%
14	6	150%	80%	80%	100%	～	120%
15	7	150%	80%	80%	100%	～	120%
16	8	150%	80%	80%	100%	～	120%
17	9	150%	80%	80%	100%	～	120%
18	10	150%	80%	80%	100%	～	120%
19	11	150%	80%	80%	100%	～	120%
20	12	150%	80%	80%	100%	～	120%
21	1	150%	80%	80%	100%	～	120%
22	2	150%	80%	80%	100%	～	120%
23	3	150%	80%	80%	100%	～	120%
24	4	150%	80%	80%	100%	～	120%
25	5	150%	80%	80%	100%	～	120%
26	6	150%	80%	80%	100%	～	120%
27	7	150%	80%	80%	100%	～	120%
28	8	150%	80%	80%	100%	～	120%
29	9	150%	80%	80%	100%	～	120%
30	10	150%	80%	80%	100%	～	120%
31	11	150%	80%	80%	100%	～	120%
32	12	150%	80%	80%	100%	～	120%
33	1	150%	80%	80%	100%	～	120%
34	2	150%	80%	80%	100%	～	120%
35	3	150%	80%	80%	100%	～	120%
36	4	150%	80%	80%	100%	～	120%
37	5	150%	80%	80%	100%	～	120%
38	6	150%	80%	80%	100%	～	120%
39	7	150%	80%	80%	100%	～	120%

=INDEX([(a)], [(b)], [(c)])*D4

ア. (a) B9:M39

(b) B5

(c) A5

イ. (a) A8:M39

(b) B5

(c) A5

ウ. (a) B9:M39

(b) A5

(c) B5

問2. 次の表は、ある駐車場における1日あたりの駐車料金表と駐車料金早見表である。B 8 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をD17までコピーする。

	A	B	C	D
1				
2	1日あたりの駐車料金表			
3	車種	乗用車	マイクロバス	大型バス
4	料金	800	1,500	2,000
5				
6	駐車料金早見表			
7	日数	乗用車	マイクロバス	大型バス
8	1	800	1,500	2,000
9	2	1,600	3,000	4,000
10	3	2,400	4,500	6,000
11	4	3,200	6,000	8,000
12	5	4,000	7,500	10,000
13	6	4,800	9,000	12,000
14	7	5,600	10,500	14,000
15	8	6,400	12,000	16,000
16	9	7,200	13,500	18,000
17	10	8,000	15,000	20,000

ア. =A\$8*\$B4

イ. =\$A8*\$B\$4

ウ. =\$A\$8*\$B\$4

問3. 次の表は、あるおにぎり店のおにぎり販売数量報告表である。この店では「販売数量」の少ない方から順に2商品の入れ替えを行っている。「備考」は、入れ替えを行う場合は「入替対象」と表示し、それ以外の場合は何も表示しない。C 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、「販売数量」に同数はないものとする。

	A	B	C
1			
2	おにぎり販売数量報告表		
3	商品名	販売数量	備考
4	さけ	950	
5	高菜	520	入替対象
6	明太子	968	
7	おかか	985	
8	ツナ	999	
9	野沢菜	680	入替対象
10	梅	986	
11	五目	860	
12	たらこ	786	
13	昆布	685	

ア. =IF(B4<=SMALL(\$B\$4:\$B\$13,2),"入替対象","")

イ. =IF(B4<=LARGE(\$B\$4:\$B\$13,2),"入替対象","")

ウ. =IF(B4<=SMALL(\$B\$4:\$B\$13,8),"入替対象","")

問4. ある家具販売店では、ベッドの販売数を集計するために次の表を用いている。シート名「集計」のB4は、次の式が設定されている。シート名「集計」のB4に表示される値として適切なものを選び、記号で答えなさい。

=SUM(東店:南店!B4)

シート名「東店」

	A	B	C	D	E
1					
2	ベッド販売数				東店
3	サイズ	S	S D	D	Q以上
4	F社	10	25	20	2
5	N社	9	8	18	5
6	その他	5	7	10	0
7	合計	24	40	48	7
8					

東店 西店 南店 集計

シート名「西店」

	A	B	C	D	E
1					
2	ベッド販売数				西店
3	サイズ	S	S D	D	Q以上
4	F社	8	2	7	0
5	N社	5	2	0	5
6	その他	1	6	5	1
7	合計	14	10	12	6
8					

東店 西店 南店 集計

シート名「南店」

	A	B	C	D	E
1					
2	ベッド販売数				南店
3	サイズ	S	S D	D	Q以上
4	F社	15	0	11	2
5	N社	10	5	9	1
6	その他	7	2	2	0
7	合計	32	7	22	3
8					

東店 西店 南店 集計

シート名「集計」

	A	B	C	D	E
1					
2	ベッド販売数				集計
3	サイズ	S	S D	D	Q以上
4	F社	※	※	※	※
5	N社	※	※	※	※
6	その他	※	※	※	※
7	合計	※	※	※	※
8					

東店 西店 南店 集計

(注) ※印は、値の表記を省略している。

ア. 8

イ. 25

ウ. 33

問5. 次の表は、あるスーパーマーケットの商品評価表である。

F4は、販売の採否を判断するために次の式が設定されている。この式をF15までコピーしたとき、「備考」に表示される 採用 の数を答えなさい。

=IF(OR(C4>=80, D4>=80, E4>=150), "採用", "")

	A	B	C	D	E	F
1						
2	商品評価表					
3	No	商品名	味	量	合計	備考
4	1	商品A	81	70	151	※
5	2	商品B	62	60	122	※
6	3	商品C	48	70	118	※
7	4	商品D	99	80	179	※
8	5	商品E	68	90	158	※
9	6	商品F	78	72	150	※
10	7	商品G	53	75	128	※
11	8	商品H	59	90	149	※
12	9	商品I	58	60	118	※
13	10	商品J	80	100	180	※
14	11	商品K	75	60	135	※
15	12	商品L	78	50	128	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【6】 次の表は、あるスキージャンプ競技の成績表である。作成条件にしたがって、各問いに答えなさい。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1													
2	スキージャンプ成績表												
3													
4	選手No	国名	選手名	飛距離	飛距離点	飛型審判					飛型点	得点	備考
5						A	B	C	D	E			
6	FI1	フィンランド	ヤコブソン	122	63.6	17.0	17.5	18.5	18.0	18.0	53.5	117.1	K点越え
7	NO1	ノルウェー	ネルドル	130	78.0	18.5	19.0	18.5	17.5	18.5	55.5	133.5	K点越え
8	AT1	オーストリア	フロイト	118	56.4	19.0	19.5	18.5	18.5	18.0	56.0	112.4	
9	JP1	日本	岡本	137	90.6	17.0	18.5	17.5	17.0	18.5	53.0	143.6	飛距離トップ3
10	FI2	フィンランド	レトネン	113	47.4	19.0	18.0	17.0	18.0	18.0	54.0	101.4	
11	NO2	ノルウェー	ホルスト	113	47.4	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	54.0	101.4	
12	AT2	オーストリア	ヘルツル	123	65.4	19.0	19.0	19.0	18.0	18.5	56.5	121.9	K点越え
13	JP2	日本	佐藤	124	67.2	18.5	19.5	19.0	19.0	19.5	57.5	124.7	K点越え
14	FI3	フィンランド	コスキネン	128	74.4	20.0	19.5	19.5	19.5	19.5	58.5	132.9	K点越え
15	NO3	ノルウェー	ハッセル	120	60.0	18.5	19.5	19.0	19.5	19.0	57.5	117.5	K点越え
16	AT3	オーストリア	ゲーテル	108	38.4	18.0	19.0	18.0	18.5	18.0	54.5	92.9	
17	JP3	日本	田原	137	90.6	17.5	17.0	16.5	17.5	16.5	51.0	141.6	飛距離トップ3
18	FI4	フィンランド	ニエミネン	131	79.8	16.5	17.0	17.0	18.0	17.0	51.0	130.8	K点越え
19	NO4	ノルウェー	ダール	121	61.8	19.0	19.0	19.0	19.0	20.0	57.0	118.8	K点越え
20	AT4	オーストリア	ヨークル	136	88.8	18.0	17.0	17.5	18.0	17.5	53.0	141.8	飛距離トップ3
21	JP4	日本	山木	125	69.0	19.5	19.0	19.0	19.0	18.5	57.0	126.0	K点越え
22													
23	国別成績表												
24	国コード	国名	得点合計										
25	FI	フィンランド	482.2										
26	NO	ノルウェー	471.2										
27	AT	オーストリア	469.0										
28	JP	日本	535.9										

作成条件

1. 「スキージャンプ成績表」は、次のように作成する。

- (1) 「国名」は、「選手No」の左端から2文字を抽出し、「国別成績表」を参照して表示する。
- (2) 「飛距離点」は、「飛距離」が120の場合は60.0とすることを基準とし、「飛距離」が1変化するごとに1.8を増減させて求める。

例：「飛距離」が118の場合 56.4

119の場合 58.2

120の場合 60.0

121の場合 61.8

122の場合 63.6

- (3) 「飛型点」は、「飛型審判」の合計から、最大値と最小値を引いて求める。

- (4) 「得点」は、「飛距離点」と「飛型点」の合計を求める。

- (5) 「備考」は、「飛距離」が降順で3位以内の場合は 飛距離トップ3 を表示し、そうでない場合、「飛距離」が120以上の場合は K点越え を表示する。それ以外の場合は何も表示しない。

2. 「国別成績表」の「得点合計」は、「国名」ごとに「スキージャンプ成績表」の「得点」の合計を求める。

問 1. B 6 に設定する式として適切なものを選び, 記号で答えなさい。

- ア. =VLOOKUP(LEFT(A6, 2), \$B\$25:\$C\$28, 2, FALSE)
- イ. =HLOOKUP(LEFT(A6, 2), \$A\$25:\$B\$28, 2, FALSE)
- ウ. =VLOOKUP(LEFT(A6, 2), \$A\$25:\$B\$28, 2, FALSE)

問 2. E 6 に設定する式として適切なものを選び, 記号で答えなさい。

- ア. =60+(D6-120)*1.8
- イ. =(60+D6)-120*1.8
- ウ. =60+(D6-120*1.8)

問 3. K 6 に設定する式として適切なものを選び, 記号で答えなさい。ただし, この式を K 21 までコピーする。

- ア. =SUM(F6:J6)-H6-F6
- イ. =SUM(F6:J6)+MAX(F6:J6)+MIN(F6:J6)
- ウ. =SUM(F6:J6)-MAX(F6:J6)-MIN(F6:J6)

問 4. M 6 に設定する次の式の空欄(a), (b)にそれぞれあてはまる適切なものを選び, 記号で答えなさい。

=IF([空欄(a)], "飛距離トップ 3 ", IF([空欄(b)], "K 点越え", ""))

- ア. RANK(D6, \$D\$6:\$D\$21, 0)<=3
- イ. RANK(D6, \$D\$6:\$D\$21, 1)<=3
- ウ. D6<=120
- エ. D6>=120

問 5. C 25 に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び, 記号で答えなさい。

=[空欄](\$B\$6:\$B\$21, B25, \$L\$6:\$L\$21)

- ア. AVERAGEIF
- イ. SUMIF
- ウ. COUNTIF

(平成29年 1 月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度（第56回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問 1	問 2			問 3
	(1)	(2)	(3)	

小計	
----	--

【5】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【6】

問 1	問 2	問 3	問 4		問 5
			(a)	(b)	

小計	
----	--

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成29年 1 月29日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度（第56回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 筆記
審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5
	カ	コ	ア	ク	イ

【2】	1	2	3	4	5
	エ	ケ	オ	イ	キ

【3】	1	2	3	4	5
	ウ	ア	イ	ア	イ

【4】	問 1	問 2			問 3
		(1)	(2)	(3)	
	ウ	エ	ク	ウ	35.1

各 3 点 20 問	小 計	60
---------------	--------	----

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
	ア	イ	ア	ウ	6

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4		問 5
				(a)	(b)	
	ウ	ア	ウ	ア	エ	イ

※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。

各 4 点 10 問	小 計	40
---------------	--------	----

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2017年 1 月29日 実施

平成28年度（第56回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 2 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート名「報告書」の A 1 のセルに
試験場校名および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は20分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、1 ページで印刷してください。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

ある植物公園では、見頃になる花の開花時期に応じて入園料金を設定しており、2016年7月から12月までの土日祝日における入園者数報告書を作成することになった。作成条件にしたがって、シート名「種別表」とシート名「入園データ表」から、シート名「報告書」を作成しなさい。

作成条件

ワークシートは、試験開始前に提供されたものを使用する。

1. 表およびグラフの体裁は、右ページを参考にして設定する。

〔 設 定 す る 書 式：罫線
設定する数値の表示形式：3桁ごとのコンマ，%，小数の表示桁数 〕

2. 表の※印の部分は、式や関数などを利用して求める。

3. グラフの※印の部分は、表に入力された値をもとに表示する。

4. 「1. 昼間入園者の種別集計表」は、次のように作成する。

(1) 「種別」は、「種別コード」をもとに、シート名「種別表」を参照して表示する。

(2) 「平均入園者数」は、シート名「入園データ表」から「種別コード」ごとに「入園者数」の平均を求める。

ただし、整数部のみ表示する。

(3) 「入園者数合計」は、シート名「入園データ表」から「種別コード」ごとに「入園者数」の合計を求める。

(4) 「料金合計」は、「種別コード」をもとに、シート名「種別表」を参照して料金を求め、次の式で計算する。

「入園者数合計 × 料金」

(5) 「備考」は、「入園者数合計」が 13000 以上、かつ「料金合計」が 8500000 以上の場合は ○ を表示し、それ以外の場合は何も表示しない。

5. 集合横棒グラフは、「1. 昼間入園者の種別集計表」から作成する。

(1) 数値軸（横軸）の目盛は、最小値（0）、最大値（4,000）および間隔（1,000）を設定する。

(2) 軸ラベルの方向を設定する。

(3) 項目軸（縦軸）の順序を設定する。

(4) データラベルを設定する。

6. 「2. 月別集計表」は、次のように作成する。

(1) 「月別合計」は、シート名「入園データ表」から「月」ごとに「入園者数」の合計を求める。

(2) 「月別合計累計」は、7月からその月までの「月別合計」の累計を求める。

D32の設定例：=C32

D33の設定例：=D32+C33

(3) 「月別合計割合」は、次の式で求める。ただし、％で小数第1位まで表示する。

「月別合計 ÷ 12月の月別合計累計」

	A	B	C
1			
2	種別表		
3	種別コード	種別	料金
4	DGE	昼間通常	300
5	DSU	昼間ひまわり見頃	400
6	〃	〃	〃
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14	NRO	夜間バラ見頃	750
15	NIL	イルミネーション	800

(種別表)

	A	B	C	D
1				
2	入園データ表			
3	入園コード	月	種別コード	入園者数
4	160702D	7	DFL	3,044
5	160702N	7	NIL	4,433
6	〃	〃	〃	〃
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105	161231D	12	DWI	2,132
106	161231N	12	NIL	5,602

(入園データ表)

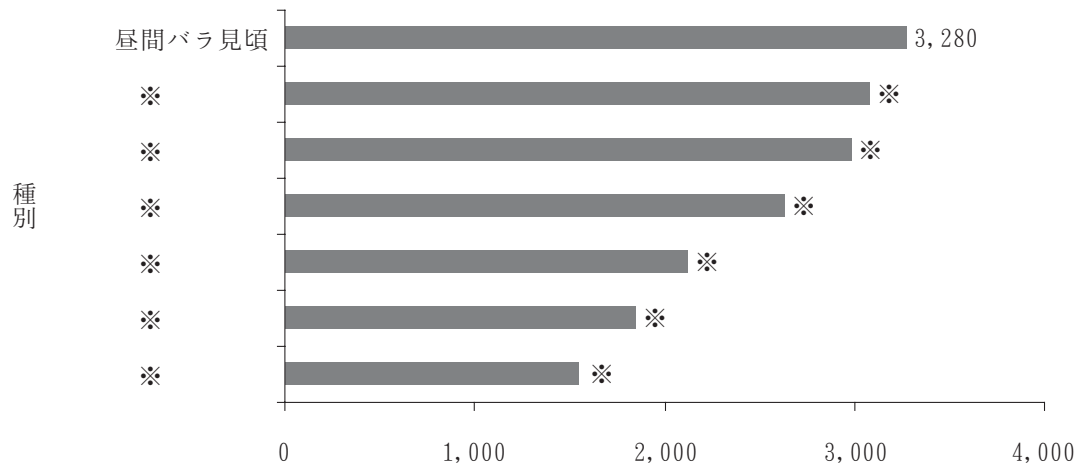
A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

入園者数報告書

1. 昼間入園者の種別集計表

種別コード	種別	平均入園者数	入園者数合計	料金合計	備考
DRO	昼間バラ見頃	3,280	13,121	9,184,700	○
DSU	※	※	※	※	※
DCO	※	※	※	※	※
DRE	※	※	※	※	※
DWI	※	※	※	※	※
DFL	※	※	※	※	※
DGE	※	※	※	※	※

平均入園者数の比較



2. 月別集計表

月	月別合計	月別合計累計	月別合計割合
7	54,972	54,972	19.7%
8	31,024	85,996	※
9	※	※	※
10	※	※	※
11	※	※	※
12	※	※	※

(報告書)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成28年度（第56回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第2級 実技

審査基準

A

B

C

D

E

F

G

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

入園者数報告書

1. 昼間入園者の種別集計表

種別コード	種別	平均入園者数	入園者数合計	料金合計	備考
DRO	昼間バラ見頃	3,280	13,121	9,184,700	○
DSU	昼間ひまわり見頃	3,081	15,406	6,162,400	
DCO	昼間コスモス見頃	2,981	14,907	8,944,200	○
DRE	昼間彼岸花見頃	2,632	13,162	6,581,000	
DWI	昼間ロウバイ見頃	2,124	6,371	3,185,500	
DFL	昼間花壇見頃	1,853	12,968	9,077,600	
DGE	昼間通常	1,579	48,942	14,682,600	○

平均入園者数の比較

注3

注2

注5

注6

注4

2. 月別集計表

月	月別合計	月別合計累計	月別合計割合
7	54,972	54,972	19.7%
8	31,024	85,996	11.1%
9	31,979	117,975	11.5%
10	37,449	155,424	13.4%
11	59,192	214,616	21.2%
12	64,292	278,908	23.1%

配点

- ① 表の作成 () の箇所 5 点×13箇所=65点
- 注1 DCOが ○ , DREが空白。
- ② 罫線 5 点× 1 箇所= 5 点 (2 つの表の罫線が正確にできている)
- ③ グラフの作成 () の箇所 ... 5 点× 6 箇所=30点
- 注2 方向。
- 注3 順序 (上から昼間バラ見頃, 昼間ひまわり見頃, 昼間コスモス見頃, 昼間彼岸花見頃, 昼間ロウバイ見頃, 昼間花壇見頃, 昼間通常) が正しく設定されていること。
- 注4 最小値 (0), 最大値 (4,000) および間隔 (1,000)。
- 注5 集合横棒グラフであること。
- 注6 数値 (2,981)。